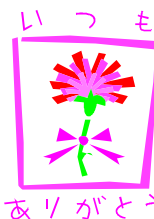


# つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 [rentai@sv.rengo-net.or.jp](mailto:rentai@sv.rengo-net.or.jp)

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

## 福島県相馬市～親たちに代わり！～



2月1日、連合本部および地方連合会の女性専従役員20名が、東日本大震災から復旧・復興をめざす福島県相馬市を訪問しました。震災時および震災後の対応と生活再建へ向けた取り組みについて、立谷相馬市長より説明を受けました。

特に参加者から印象深かったとの声が寄せられたのが、震災孤児遺児のための基金についてです。震災後に震災孤児遺児のために基金を開設し、募金を呼びかけたところ世界中から4億9千万円が集まったとのこと。

下の枠内に相馬市長のメルマガを一部抜粋してご紹介します。

私たち一人ひとり、もっとできることはないのか、もう一度考えてみるべきではないかと思ひ知らされる500文字です。

### ◆親たちに代わり◆

※相馬市長のメルマガジン（No275／2013年1月3日号）より

『この基金を思い立ったのは、消防団員たちのご遺体発見の知らせを次々と受けた時でした。避難誘導しながら迫り来る巨大な津波を見た彼らが最後に何を思ったろうかと、胸が苦しくなりました。30代が主流の消防団員たちは子育て世代。父親としての責任と喜びを人生の途中で奪われる彼らの無念に言葉も出ませんでした。子どもを健やかに育てたい。成長して自立した後は強く生きて欲しい。それは父親としての生き甲斐でもあり、人生で持ちうる最大の喜びでもあります。競争社会の今日、強く生きるための最良の手段はしっかりと教育をしてあげること、具体的に言えば高等教育を身につけさせることです。そのための努力を人生の途中で奪われたとしたらさぞや心残りだったろうと思ったのです。彼らに代わって我々がしてあげられることは、18歳までの生活支援と高等教育進学などの学費と平均的な生活費の仕送りまでです。父親が果たす精神的な支えや社会教育などはもちろん及びもつきません。せめて郷土の英霊となった彼らを誇りに思ってもらいたい～（省略）

復興の最大の目標は教育と考えています。』

以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 [rentai@sv.rengo-net.or.jp](mailto:rentai@sv.rengo-net.or.jp)